

コード	20503
作成年度	26年度

# 基本事業評価表

基本事業名称	消防団組織と消防施設の充実
--------	---------------

総合計画の位置付け	
政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり
施策名称	安全を実現できる体制づくり

課コード	106	関係課名	消防本部
主管課名	総務課		

## 基本事業の目的

社会環境の変化に対応するため、消防団組織の見直しや待遇の改善等を進め、団員の確保に努めるとともに、各種災害を想定した訓練実施による組織力の強化を図る。さらに、研修、消防学校への入校により、消防職員・団員の資質の向上に努めることを目的としている。また、消防ポンプや積載車の更新をはじめ、水利の拡充、消防詰所の改修など消防防災施設の整備・改修を計画的に推進することを目的としている。

## 基本事業の成果

成果指標名称 1	防火水槽設置数	成果指標名称 2	火災・救急救助出動回数					
成果指標の積算根拠	防火水槽計画設置数	成果指標の積算根拠	出動回数					
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成26年度					
目標達成数値	5基	目標達成数値	-					
年 度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度		
成果指標 1	目標 A	単位	基	3	1	1	-	-
	実績 B		基	3	1	1	-	-
	達成率 B/A		%	100.0	100.0	100.0	-	-
成果指標 2	目標 A	単位	件	668	718	822	798	-
	実績 B		件	668	718	822	798	-
	達成率 B/A		%	100.0	100.0	100.0	100.0	-

1次評価	現状	あらゆる災害、事故から町民の生命、身体及び財産を守るため、防火意識の向上・応急手当及び住宅用火災警報器の普及に努め、常備・非常備とも訓練に励み、資機材の点検、整備を怠ることなく、即時対応できる体制を整えている。
	課題	多様化する災害現場に対応すべく専門的知識、強靱な体力と高度な技術が要求されるが、消防職員の大量退職に伴う現場経験不足、消防団員の高齢化、さらに消防水利の不足や消防車両を含む資機材が老朽化の傾向にある。
	改善	消防職員・団員の資質の向上を図るため訓練、研修、講習さらに消防学校入校による教養の機会を与えるとともに、水利事情の悪い地区への消防水利の整備、非常備消防の統廃合をふまえた消防団詰所を視野に入れた消防施設の整備、改修を今後とも計画的に推進する。
2次評価	大規模災害発生時に備えた地域防災力を維持・向上させるため、その中核となる消防団員の入団促進及び消防団活動の安全対策の推進を図るとともに、幼少年婦人防火クラブや自主防災組織といった民間防災組織の活動を推進を図っていくこと。また、消防施設等の新設、維持管理については計画に基づき適切に実施していくこと。	
3次評価 住民等の意見		
町の対応		

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成25年度 直接事業費	評価の方向性
1	205030103	消防団分団運営費補助事業	総務課	3,764千円	(途中) このまま事業を継続
2	205030201	幼少年婦人防火委員会助成事業	総務課	400千円	(途中) このまま事業を継続
3	205030501	防火水槽新設事業	総務課	-	(途中) このまま事業を継続
4	205030701	消火栓新設事業	総務課	284千円	(途中) このまま事業を継続
5	205031504	消防救急無線デジタル化整備事業	消防本部	130,000千円	(途中) このまま事業を継続
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				134,448千円	